



第5章

水道事業の目指す理想像

第5章 水道事業の目指す理想像

1. 水道事業の理想像

(1) 基本理念

本市に限らず、日本の水道事業を取り巻く環境は、給水人口や料金収入の減少、水道施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、多くの課題をかかえています。これらの課題を水道事業者が一丸となって対応していくために、国が策定した「新水道ビジョン」では、「地域とともに、信頼を未来につなぐ日本の水道」を基本理念として、関係者それぞれが取り組みに挑戦することを求められています。

本市では、平成28年度に「第5次八潮市総合計画」を策定し、市民一人ひとりが安心感をもって暮らし続けていけるよう、都市基盤・環境における将来都市像を、“快適でやすらぎと潤いのあるまち”と決めました。この将来都市像の実現に向け、水道として“安全な水を供給する体制づくり”を進め、誰もがいつでも安全・安心な水道水を利用できるまちを目指し、様々な事業を進めています。

そのため、市民一人ひとりが安心感をもって暮らし続けられるよう、本ビジョンでは「**安心を未来につなげる八潮の水道**」を基本理念とします。

基本理念

安心を未来につなげる八潮の水道

～安全な水を供給する体制づくり～



(2) 水道の理想像

水道の理想像とは、時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、安全な水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、安心して利用可能であり続けることと考えています。

本市の水道では、これら水道の理想像を実現するため「安全」、「強靱」、「持続」の観点から課題点を見だし、水安全計画、耐震化計画、アセットマネジメントを戦略的アプローチとして活用することで、水道事業における体制強化を図ります。

今後、改善に向けた取り組みを計画的に進め、水道の理想像の具現化に向け、事業を推進していきます。



